

母子餓死 徹底検証を

大阪・八尾 事件調査団、市に要望

弁護士や学者らでつよる検証委員会」を設けた。

くる八尾市母子餓死 事件が発覚したのは昨年2月。八尾市の集
事件調査団は16日、昨 解明等を要望しまし 合住宅の一室で、生活
年2月に大阪府八尾市 た。市側は「しかるべ 保護を利用して50
で生活保護利用中の親 き対応をします」との 代の母親と20代の長男
子が自宅で遺体で見つ 回答にとどめ、第三者 の遺体が見つかりまし
かった事件をめくり、 検証委員会の設置の めて異常だ。福祉の存
同市に対し「第三者に 意思は示しませんでし た。報道では、水道と

ガスが止められ、食べ る」と話しました。 わらず、2月になるま
かけのマーガリンや小 調査団によると、八 で安否確認を行わな
銭などしか残っておら 尾市は就労不安定な長 ったことなどが明らか
ず、困窮の末に餓死し 男に対し繰り返し保護 になっっています。
た可能性が高いとみら を廃止し、親子の同居 調査団は「保護の実
れています。 施機関としてあるまじ

記者会見で調査団共 の保護費しか支給せ 多々存在する」と、福
同代表の尾藤廣喜弁護 ず、毎月2万円の返還 社事務所の姿勢と体制
士は「生活保護を利用 金を徴収しています。 の脆弱(せいじゃく)
しているにもかかわら 同市は、親子が201 の脆弱(せいじゃく)
ず、親子が死亡する事 9年12月と昨年1月の さが生んだ事件と指
態に陥っているのは極 2カ月にわたり保護費 摘。再発防止へ八尾市
をを受け取りに市役所を に速やかな是正を訴え
訪れなかったにもかか ました。